



日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第 65 号

平成24年9月30日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会長 照 沼 一 美
事務局 〒306-0204
古河市下大野1463-4
事務局長 鈴 木 義 夫
会員数 1,003 名 (H24. 9. 1 現在)



平成 24 年度茨城県スポーツ指導者研修会 (全県研修) (平成 24 年 9 月 23 日(日))

日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ.....	2
茨城県スポーツ指導者協議会 功労賞受賞者あいさつ.....	2~4
桜川市スポーツ指導者協議会主催 永瀬裕啓先生の講習会に参加して.....	4
平成23年度収支決算報告書.....	5
平成24年度収支予算書.....	5
平成24年度本協議会事業計画書.....	6
支部だより.....	7・8
みんなの広場.....	9・10

あいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会会長 照沼 一美

茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。平成二十四年度も既に半年を過ぎました。

恒例になりました資格更新時の義務研修会は、従来の「中央研修会」という名称を『全県研修会』と改めて二年目になりました。再出発された水戸支部が主的な運営をされ「全県研修会」が実施されました。県内の六支部が足並みを揃えた形になりました。このことが、昭和五十二年茨城県スポーツ指導者協議会設立以来、長きに亘り県内支部の充実を目標にしてまいりました。茨城県スポーツ指導者協議会の目標の一つが満足される組織の上で、事実上の底上げになる事が約束されました。六支部それぞれが競い合い、会員・非会員問わず、有資格者にとって、意義のある組織に発展されますようご期待いたしております。

支部、県南支部、県西支部、鹿行支部として年間行事が遂行されており、各支部はそれぞれの環境に伴った事業が計画実行され、特に資格更新時の義務研修は各支部が責任体制を樹立され、的確に実施されております。特に県中部で実施する「全県研修会」につきましては、各支部持ち回りにより主たる教務を担っていただいております。県内には有資格者が約二千五百名ほど数えられております。その有資格者が四年に一度の研修を義務つけられていることから、その研修受講権利と義務を満足させるには、年間六百名以上の有資格者に対する研修会場を開設、運営せざるをえません。そのことから各支部は積極的な研修会場の設営をすることが望まれます。

平成二十四年度のスポーツ指導者の資格取得養成講習会はバレーボールと軟式テニスの二種目です。各種目それぞれ二十余名の参加で、約四十数名が有資格者として、仲間入りが約束されるでしょう。そろって茨城県スポーツ指導者協議会への入会が望まれます。

『スポーツ基本法』として全文が改正され、二〇二一年六月二十四日公布、二〇二一年八月二十四日施行されました。スポーツの考え方が見直され、スポーツの果たす役割が「スポーツ立国」を実現するために、国や地方の施策が総合的に、計画的に推進されることが期待されます。

茨城県スポーツ指導者協議会
スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ

日立市 大越 勲

勤後もテニス部を新設し、町の協会に所属し、大会や地域内工場等の交流試合を開催し親睦を図り二十四年間勤め、昭和六十三年に日立工場へ転任しました。平成六年の定年までは、会社人間に徹しました。その後、数ヶ月で体調の変化に驚きソフトテニス練習を再開。これが縁で、スポーツ少年団指導に係わるようになり、平成七年市体協より資格取得を紹介され「スポーツ少年団認定員」を、翌年「ソフトテニスC級スポーツ認定員」認定証を取得しました。地域の子供達を指導しながら、ママさんグループの大会にも参加して、交流を広げてきました。

今は単体スポーツだけでなく、近隣、地域で誰れもが楽しさを味わえるスポーツに取り組み、グループを立ち上げ励んでいるところです。今回の受賞は、私を育ててくれた多くの方達のご指導ご鞭撻の賜物と思ひ、今後の地域貢献に生かしていく所存です。

日立市 保坂 信子

この度、平成二十四年度茨城県スポーツ指導者協議会よりスポーツ指導者表彰をいただきました。推薦を頂きました県スポーツ指導者協議会県北支部及び関係各位

に対し心より御礼申し上げます。
 専門種目のバドミントンとの出会いは日立市主催の教室でした。

スポーツが大好きな私は軽い気持ちで受講したのですが、だんだんやっけていくうちにすっかり虜になってしまったのです。先生の勧めもあり指導者資格を取得しました。資格は持っていても何もわかない私を手取り足取り導いてくださり協議会への関りの誘い、全国大会出場までのレベルに引き上げてくれたのも先輩の指導者の方達でした。「まず実行、教えることが自分の成長」と指導していただき今日の私の土台となっております。深く感謝しています。

時を経て現在は専門種目、レクリエーション、健康体操等生涯スポーツの分野で多くの方達と楽しんでおりますが、スポーツ人口の裾野を広げて子供たちへスポーツの楽しさを伝えていくことが使命かと思っております。

今後共、ご指導を承わります様よろしくお願い致します。

日立市
 佐藤 マツ

この度、茨城県スポーツ指導者協議会からの表彰は、本当に嬉しく、身に余る光栄でございます。役員、指導者、皆様方のご推薦の



お陰と、心より感謝申し上げます。

バドミントン上級指導員としてたくさん仲間の出会いを大切に、健康的で明るく、家族でも楽しめるスポーツをめざして参りました。

練習ごとに、クラブ員の技術の向上も見られ、笑顔が多くなっていることは、私達指導員の喜びです。

今後とも地域の方々との交流、助成事業、研修等に、積極的に参加し生涯スポーツの普及に寄与出来るよう努力していきます。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

本当にありがとうございます。

高萩市
 伊東 和夫

去る、五月二十七日当協議会総会の席上で功労賞の表彰を賜りました。日頃迷惑をかけているのではないかと、恐縮していましたが、御推薦を頂きまして関係各位の皆々様に心から深く感謝と共にお礼申し上げます。ありがとうございました。

私は、昭和五十二年に地域のママさんバレーボールチームが指導者が必要としていたのを知り、学生時代バレー部の経験を生かし一緒にやってみようと思いました。：と同時に市の教育委員会の方からスポーツ指導者養成講座受講依頼があり、これが切っ掛けで日体協の資格を取得することが出来ました。活動は、地域が主でママさんチームの監督を三十数年間続けられました。その間、成績は市内の大会で優勝は多くはありませんが三位以上の入賞は数十回はあったと思います。またチーム最盛期の頃は三チームを作れる程の部員数がいて、纏めるのに一苦労した思いがあります。それぞれ考え方の違う集団の中で、人への接し方、指導方法等経験上から学びまた教わり私の人生に大いに役立つました。六十五才を契機にチームは退会しましたが市のバレー連

盟組織の方は一員として同様活動を続けています。古希を過ぎた今、若い時、一時崩した体調も幸いに順調で仕事も現役で続けられています。これはスポーツを「友」にしてきたお蔭と思っております。自身の基礎体力作りトレーニングは、動ける間は継続するつもりです。そして新しい事に挑戦しながら前向きに地域活動に取組みたいと考えています。皆様の御指導をお願い申し上げます。

古河市
 島田 良子

平成二十四年度、茨城県スポーツ指導者協議会の発展に永年にわたり多大な尽力をされたということで、感謝状を賜り光栄に存じております。

心に残ったあの日「古河市招待女子ソフトボール・フェスティバル」があります。

大会三日目の決勝トーナメントが雨のため中止、閉会式の前に、選手一同が二高体育館で、汗を流すことになった時でした。何を楽しくよい思い出となるものにしていかと考えた結果「エアロビクス」となり、私が指導を担当することになりました。

全国のソフトボールのすばらし



い選手達と一緒にやること、はじめての試みということ、うまく乗ってくれるか心配でした。会場に音楽が流れるや、全員が一斉に身体を動かし、リズムに乗りすばらしい盛り上がりとなりました。会場は熱気と光る汗、はちぎれる若さといったの楽しさあふれるものとなりました。若い人も、年を重ねた人もスポーツに親しんでほしいという願いが大きくふくらんできました。これからも地域社会、生涯スポーツのために一人でも多くの人と一緒に健康づくりができるよう微力を尽くしたいと願っています。

「あなたの足があぶない」？何のことだろうと疑問を抱きつつ臨んだ講習会でしたが講師の永瀬裕啓先生の講演は、当日参加していた小学生から熟年と幅広い年代層の方に足の大切さと役割に関して分かりやすくお話しいただき、又実技研修では参加者全員が先生の実技の手元を真剣に見入り、モデルとなった小学生の「わぁー足が軽い」の一言を聞くと思わず靴下を脱ぎ自分の足を見直す姿が並んでいました。

限られた時間ではありましたが健康な日常と楽しいスポーツライフの為に、今まで気にしていなかった足の役割と自分で健康な足に戻すことが出来るということを教えてください、遅まきながら残りの人生まだまだ使う自分の足を大切にしていかなければと考えさせられました。

桜川市スポーツ指導者協議会主催
永瀬裕啓先生の
講習会に参加してみても

永瀬 順子



茨城県スポーツ指導者協議会 総会

平成23年度 収支決算報告書 (平成23年 4月1日～平成24年 3月31日)

(単位:円)

収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	760,000	1,074,000	314,000	4000円×243名・3000円×31名・2000円×4名・1000円×1名
2. 助成金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会(23年度)
3. 繰越金	504,638	504,638	0	前年度繰越金(22年度)
4. 雑収入	362	117	△245	
合計	1,625,000	1,938,755	313,755	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	今年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	222,000	145,265	△76,735	
総務委員会	32,000	8,390	△23,610	事務用品・切手・葉書・飲み物
常任理事会	20,000	5,314	△14,686	事務用品・切手・葉書・飲み物
理事會	50,000	11,561	△38,439	事務用品・切手・葉書・飲み物
総務委員会	10,000	10,000	0	
広報委員会	60,000	60,000	0	
研修委員会	50,000	50,000	0	
2. 事務費	530,000	366,291	△163,709	
旅費	100,000	35,500	△64,500	会議旅費
消耗品費	120,000	108,783	△11,217	事務用品・コピー用紙・インク
食料費	20,000	0	△20,000	
印刷コピー費	40,000	22,050	△17,950	封筒印刷
通信費	130,000	150,000	20,000	切手
備品費	120,000	49,958	△70,042	メモリ・コピー機
3. 事業費	810,000	712,660	△97,340	
会報印刷費	180,000	165,600	△14,400	会報63号・64号
会報発送費	180,000	177,360	△2,640	送料・宅配便
研修費	60,000	0	△60,000	
派遣費	60,000	39,700	△20,300	全国研修会
県北活動費	80,000	80,000	0	支部活動費
中央活動費	100,000	100,000	0	支部活動費
水戸活動費	0	0	0	支部活動費
鹿行活動費	70,000	70,000	0	支部活動費
県南活動費	50,000	50,000	0	支部活動費
県西活動費	30,000	30,000	0	支部活動費
4. 予備費	13,000	0	△13,000	
5. 雑費	50,000	6,840	△43,160	振込手数料
合計	1,625,000	1,231,056	△393,944	

収入合計 1,938,755円
 支出合計 1,231,056円
 差引残金 707,699円

※上記のとおりご報告いたします。
 なお、差引き残金は平成24年度予算に繰越し致します。

平成24年度 収支予算書 (平成24年 4月1日～平成25年 3月31日)

(単位:円)

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会費	920,000	760,000	160,000	4000円×230名
2. 助成金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会(24年度)
3. 繰越金	707,699	504,638	203,061	前年度繰越金(23年度)
4. 雑収入	301	362	△61	
合計	1,988,000	1,625,000	363,000	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	192,600	222,000	△29,400	
総務委員会	30,000	32,000	△2,000	
常任理事会	20,000	20,000	0	
理事會	50,000	50,000	0	
総務委員会	10,000	10,000	0	
広報委員会	72,600	60,000	12,600	
研修委員会	10,000	50,000	△40,000	
2. 事務費	580,000	530,000	50,000	
旅費	100,000	100,000	0	
消耗品費	150,000	120,000	30,000	
食料費	20,000	20,000	0	
印刷コピー費	40,000	40,000	0	
通信費	150,000	130,000	20,000	
備品費	120,000	120,000	0	
3. 事業費	1,100,000	810,000	290,000	
会報印刷費	200,000	180,000	20,000	会報65号・66号
会報発送費	200,000	180,000	20,000	
研修費	60,000	60,000	0	
派遣費	60,000	60,000	0	
県北活動費	100,000	80,000	20,000	
中央活動費	120,000	100,000	20,000	
水戸活動費	70,000	0	70,000	
鹿行活動費	90,000	70,000	20,000	
県南活動費	120,000	50,000	70,000	
県西活動費	80,000	30,000	50,000	
4. 予備費	65,400	13,000	52,400	
5. 雑費	50,000	50,000	0	
合計	1,988,000	1,625,000	363,000	

収入合計 1,988,000円
 支出合計 1,988,000円
 差引残金 0円

※上記のとおりご提案いたします。

平成24年度本協議会事業計画書

1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者としての資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会加入の促進に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の体制充実
 - ②支部組織の充実
 - ③市町村および競技団体との連携・協調
 - ④有資格者の会員加入に促進を推進する。
- 2) 研修会を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

3. 事業

- 1) 平成24年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
 - ①平成24年度全県研修会(旧・中央研修会)・茨城県会場
 - (1)期日 平成24年9月23日(日)
 - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・水戸支部および研修委員会
 - (3)会場 水戸市・茨城県立青少年会館
 - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
 - ②平成24年度地区研修会・県南地区会場
 - (1)期日 平成24年11月25日(日)
 - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県南支部
 - (3)会場 阿見町・本郷ふれあいセンター
 - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
 - ③平成24年度地区研修会・県北地区会場
 - (1)期日 平成25年1月27日(日)
 - (2)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県北支部
 - (3)会場 日立市・日立市女性センター
 - (4)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
- 2) 平成24年度支部活動計画
 - ①県北支部
 - (1)研修会

期日	平成25年1月27日(日)
会場	日立市・日立市女性センター
内容	県北地区研修会主管
 - (2)広報発行 第40号及び第41号あみ〜ご発行
 - ②水戸支部
 - (1)講習会

期日	平成24年4月14日(土)
会場	水戸市・ケーズデンキスタジアム多目的室(B)
内容	水戸支部救命講習会
 - (2)研修会

期日	平成24年9月23日(日)
会場	茨城県立青少年会館
内容	全県研修会主管
 - ③中央支部
 - (1)講習会

期日	平成24年6月 日(土) (予定)
会場	ひたちなか市・西消防署会議室
内容	上級救命資格更新講習会

(2)講習会

- | | |
|----|-------------------|
| 期日 | 平成24年7月 日(土) (予定) |
| 会場 | ひたちなか市・西消防署会議室 |
| 内容 | 上級救命資格更新講習会 |

④鹿行支部

- (1)研修会

期日	平成25年2月 日(日) (予定)
会場	未定
内容	未定
- (2)広報誌 期日 平成24年12月予定

⑤県南支部

- (1)研修会

期日	平成24年11月25日(日)
会場	阿見町・本郷ふれあいセンター
内容	県南地区研修会主管

⑥県西支部

- (1)講習会

期日	平成25年3月 日(日) (予定)
会場	未定
内容	普通救命資格講習会

3) 平成24年度本協議会会報発行

- ①会報65号発行
 - (1)発行月日 平成24年9月末日予定
 - (2)製本部数 1200部
- ②会報66号発行
 - (1)発行月日 平成25年3月中期予定
 - (2)製本部数 1200部
- 4) 平成24年度日本体育協会研修会
 - ①平成24年度全国スポーツ指導者代表者会議
 - (1)期日 平成24年12月 日未定
 - (2)会場 未定 (3)出席者 照沼会長
 - ②平成24年度公認スポーツ指導者全国研修会
 - (1)期日 平成24年12月 日 未定
 - (2)会場 未定
 - (3)出席者 照沼会長ほか若干名
- 5) 平成24年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の支部推薦者

※候補者

 - ①島田良子様(県西支部) ②保坂信子様(県北支部)
 - ③大越 勲様(県北支部) ④遠藤 守様(県南支部)
 - ⑤伊東和夫様(県北支部)
- 6) 平成24年度各種会議等の開催
 - ①総会
 - (1)期日 平成24年5月27日(日)
 - (2)会場 水戸市・内原中央公民館二階視聴覚室
 - ②常任理事会 2回計画/年(予定)

会場	水戸市・内原中央公民館円卓室(予定)
----	--------------------
 - ③理事会 3回計画/年(予定)

会場	水戸市・内原中央公民館二階円卓室(予定)
----	----------------------
 - ④専門委員会
 - (1)総務委員会 3回計画/年(予定)

会場	古河市・中央公民館一階会議室(予定)
----	--------------------
 - (2)広報委員会 4回計画/年(予定)

会場	水戸市・茨城県立青少年会館研修室(予定)
----	----------------------
 - (3)研修委員会 3回計画/年(予定)

会場	水戸市・内原中央公民館円卓室(予定)
----	--------------------

支部だより

鹿行支部

支部長
島田昌和

文部科学省は地域住民が身近な地域でスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブの育成を地方公共団体やスポーツ団体と共に進めています。

鹿行地域については、平成二十四年度中に全ての市に設立される予定となっています。

平成二十三年十月二十二日に鉾田市において設立された大洋スポーツクラブは、平成十九年度に育成指定クラブとなり、日本体育協会の助成を受け、設立に向けて準備を進め、体操教室やウォーキング教室、ニュースポーツ教室などの事業を展開し、地域住民にスポーツクラブへの参加を呼びかけ活動に取り組んでいました。ただ、地域特有の問題などからなかなか参加者が集まらず、断念した事業もありました。

目標としていた設立年度に設立が叶わず、準備委員の意欲も薄れ、設立断念の危機もありましたが、皆で地道に努力し、平成二十三年度内に設立することができました。

クラブの活動が子供から大人までの健康づくりや生き甲斐づくりに役立ち、地域の誰もが知り合い、安心して笑顔で生活できる素晴らしい地域のコミュニティづくりに貢献してもらいたいと思っております。

県西支部

事務局長
近藤康雄

会報六十四号にも載せましたが「県西支部独自の活動をどの様にすべきか？」です。

お陰様をもちまして支部会員数は皆様のご理解を頂き一昨年と比較すると三〇名ほど増加して現在一四五名となりました。しかし、今年度の四月二十九日開催の支部総会には出席者は例年通り九名と少なく（但し委任状九十八名、連絡なし三十八名）、今後の支部活動をどのように運営していけばいいのか苦慮しています。一四五名の会員の方々は各地区に於いて競技別指導者として多方面で活躍をされていると思います。平成二十四年度も既に半分を過ぎようとしています。一人でも多くの会員の方々とお会いできる機会を設けたいと考え支部総会の中で出席者から提案があり、会員の皆様方にお送りした総会議事録にも載せてありますが来年度の総会日に

「普通救命講習会」を計画し、実施したいと思えます。この会報をご覧になり、ご意見、ご要望がありましたら

〒306-0052

古河市大山1543-13

県西支部事務局 近藤康雄

電話・FAX

0280-481-1911

まで連絡をお願いいたします。

水戸支部

支部長
吉田広光

本年度水戸支部事業計画の中で、さる四月十四日、会場ケーズデンキスタジアム多目的室にて救命法、特にAEDの使用の仕方、知識を学び身につける実技研修会を開催しました。大勢の方の参加希望があり研修の目的が果たすことができ大変有意義に又貴重な時間を過ごさせて頂き、又参加者の中には更新された方もあり感謝したいと思っております。又参加された指導者の方には講習修了証を後日、水戸市消防本部より預り指導者の皆様に配布させて頂きました。ありがとうございます。

この開催には『社団法人』水戸地区救急普及協会事務局・事務局長堀口様に多々開催準備の指導を

受け、三時間三十分の実技講習にも深い理解と協力を頂き感謝の想いを寄せております。

事業計画ですが、この会報が配布される頃には水戸支部が主管で九月二十三日全県研修会が青少年会館にて開催されます。又少々遅れましたが水戸支部の総会を七月二十二日に開催し本年度の事業計画、又収支予算案など本年度の活動方針など幅広く地位向上に会員皆様の運営協力をお願いしたい。

又開催ができる交流会を持つ事、それによって過去に果たせなかつたことを一歩一歩ですが仲間が育み、これを継続して人と人との出合っていくことは本場に大きな意味をもっていると思う。そんな仲間同志から情報を得る事は、交流を深める事の一步につながるから。

又各支部の研修会の合間には積極的に活動の内容なども勉強したい。『財団法人』日本体育協会公認スポーツ指導者で有資格者は三千五百二十三名で本協会に加入した会員は千二名であり、水戸支部は現在の所一三三名であります。この協議会の中に日本体育協会指導者表彰事業等の推薦がございます。地域での各種団体での活躍の中指導者として積極的な実績を積み重ね水戸支部からも推薦者を理想ですが一員でも出来れば出

したいと思っております。各競技団のこれからの活躍を期待したい。二〇一九年に本県で開催が予定されている国民体育大会「茨城国体」の県の開催準備が六月二十四日の記事に出されており、全四十四市町村が競技会場として開催を「希望」と回答、一種類または数種類の競技を希望する自治体があるようです。一方で施設がないなどの理由で希望がない。我々スポーツ指導者は目指す位置付があるのでしようか。どんな事でも一生懸命やる「プロセスの大事さ」「仲間の大切さ」それを重視する姿勢こそ、脇役の源流がっていることと思われまます。

中央支部

事務局
野々村 律子

平成二十四年度、中央支部講習会が六月二日(土) 上級救急資格更新、七月二十一日(土) 上級救急資格取得として、ひたちなか市西消防署において、開催されました。自分達の活動の中で、日常の日々の中でその場に居合せた時にお役に立てる様にと、知識と実技を各人が身につけておければと思っております。

今年度にはひたちなか市と東海村の統合制度により、消防署のシス

テム変更に伴う事により、以後は年一回の講習会開催として、続けて行きたいと思っております。

支部研修会は本年度は九月二十九日(土) 笠松運動公園多目的室において、午前中だけではあります、日本体育協会公認義務研修として認められております。資格更新時の手助けになればと思っております。

大塚製薬による情報提供、茨城県防災危機管理課職員による防災について、はり灸療師藤枝先生によるトレーニングの科学の内容で開催致しました。

研修会については、会員さんからの要望をお聞きし、継続してゆきたいものと思っております。どしどし事務局までお知らせ頂きたくお待ちしております。

日頃の活動を充実させ、意義ある活動が出来るように祈念いたします。

県北支部

支部長
野内 康二

県北支部では四月二十二日支部総会を開催し、今年度の事業計画を次のように決定しました。

- 一、役員会・委員会 随時
- 二、県北地区研修会 一月二十七日
- 三、支部会報の発行 二回/年
- 四、スポーツ保険の加入 随時

五、近隣市町村への協力

- ・ さくらロードレース運営協力
- ・ 女性センター祭り運営協力
- ・ 常陸太田市グラウンドゴルフ運営協力
- ・ 常陸太田市歩け歩け大会運営協力

であり、鋭意取り組んでまいり所存ですが、今年度は、特に地区研修開催の当番支部に当たることから、まず、「県北地区研修会」の開催を最大の目標に位置づけ、これを実行すべく役員会を開き、開催日時等を次のように決めました。

- 一、開催日時 平成二十五年一月二十七日(日) 九時半～一四時半
- 二、場所 日立市女性センター
- 三、講演 I 「傷害予防とパフォーマンス向上に繋げるトレーニング理論」
- 講演 II 「負傷時の応急処置と防止のテーピング」

この講演 I・II の講師を東京有名医療大の先生方をお願い致したく、現在、県体協へ申請し、日体協の承認と承認後の講師先生への折衝をお願いしているところであります。皆様より要望のあったトレーニングの実技講習も行います。今、着々と準備を進めておりますので、是非多数のご参加をお願い申し上げます。

県南支部

支部長
櫻井 孝之

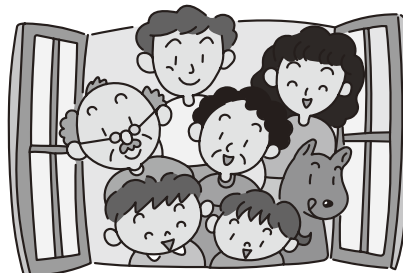
今年度は、二年振りに地区研修会の開催です。十一月二十五日に阿見町本郷ふれあいセンターで開催いたします。日頃会員の皆様と触れ合う機会が有りませんで、この研修会で皆様との情報交換が出来ればと考えております。

今回は百名程の参加を頂きました。今回はそれ以上の参加者を期待しております。

県南支部の組織も、かなり弱体化して久しいのですが、どなたにもお願いすれば良いかと四苦八苦しています。県南支部会員の皆様にご協力を只々お願いをするばかりです。

話題を変えて、牛久市でも今年度総合型スポーツクラブ岡田スポーツ交流会が発足いたしました。十五年ほど活動していた交流会(昨年参加人数延べ六千人)を軸に更に活動の幅を広げて、市民の交流と健康増進、地域の活性化を目指しています。スポーツ指導者の新たな視点での、楽しいスポーツプログラムの開発・提供・実施を期待しております。県南地区の他のクラブとの交流や意見交換が出来ればと考えております。総合型に参加している会員の皆様との交流を図れたら幸いです。

みんなの広場



笑顔で楽しく



日立市
佐藤 マツ

私は、昭和五十五年、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員の資格を取りました。

そしてすぐ茨城県スポーツ指導者協議会の会員になりました。

昭和六十一年県北スポーツ指導者協議会発足後は、研修会等に参画し今に至っております。

平成九年「みんなの広場」で紹介したクラブも十数年になりました。スポーツで素人の人達ばかりが知り合い、友情の和を続けたいという思いの時、バドミントンに出

合ったのです。

週二回水、金曜日の午前中、家庭婦人を中心に親睦をはかり、健康志向、大会志向（県市町村）とそれぞれですが、楽しく汗を流すすばらしさは今も続いています。

今、市内の学生時代にバドミントンを経験した人達がいて、初級者も数人いるクラブを指導しています。

参加者が全員コートに入れるように、初級者でも先輩と一緒にプレーできる四人対四人（クワアジブルス）、三人対三人（トリプルス）のゲームもしています。

先輩にアドバイスをもらい、又、カバーしてもらいながらコートを走り楽しそうな笑顔を見れることは、私達指導員の喜びです。

トリプルスは、県レディース連盟でも大会を開催し、十数年になります。また平成二〇年には、第一回全日本バドミントントリプルス選手権大会（個人戦）が滋賀県大津市で開催され、今年で四回目を数えます。

種目も三人合計年令①一二〇才以上、②一五〇才以上、③一八〇才以上の部と幅広い年齢層です。長い間プレーを続けて来た人達もクワアジブルス、トリプルスで、まだまだ楽しいゲームが出来ます。

今後とも地域の方々との交流、生涯スポーツの普及に、支援出来るよう努力していきます。

東海村弓道スポーツ少年団 指導員を経験して



東海村
床嶋 純孝

四年前から先輩に勧められて指導員を引き受け現在に至っています。

弓道スポーツ少年団の日常の活動について一端を報告します。東日本大震災までは東海中学校の弓道場で毎週日曜日の朝七時から九時までが練習時間でした。真冬の朝一番を想像してください。シャッターを開け、屋外同然の道場内で練習が始まります。指導員は育成会会長をはじめ一〇人程度が当たっています。現役の方もいるので七、八名になります。

道場に集合する時には、お互いに、または先生がたに「おはようございます」と元気に声をかけます。道場に入るときは、履物は出船に揃えます。乱れた靴には先生の叱責の声が上がります。準備体操の後、道場内では六年生が毎週順番に全員の前に立ち、「正座」の号令で座りますが、正しく座れないとひざが音を立てます。先生から「やり直し」の声が出ます。「黙とう」30秒ほど黙とうをして、先

導者は脇正面に向かい「正面に礼」、直って「先生方に礼」「お互いに礼」と挨拶をします。

それから出欠をとり、先生から安全上の注意等を受けたあと実技の訓練です。弓道は礼に始まり礼に終わります。体配といいますが正しい立ち方、座り方、歩き方が求められます。四年生から参加ができますが、なかなか正しく座ることでも大変です。今日の家庭内で、正座をする機会がある子供はいないでしょう。六年生はほぼ出来るようになり、下級生の手本となります。実技は少しずつ上達します。体が大きくなり、力がつくに従い、弓を引けるようになり、的に当たるようになりませんが、体配は難しいようです。六人が息を合わせて、気持ちの一つにして入場し、射をした後、正しく退場することを繰り返し指導します。震災後は村体育館弓道場で日曜日の九時から十一時までの時間となりましたが、私は指導員でありながら、彼らの努力、熱心さに感激し、逆に励まされながら、指導に努めています。

昭和四十七年から始まった子供たちの弓道教室ですが、現在は一・二期生が、自らの子供を伴って指導員となって帰ってきました。また弓道少年団を卒業した後、中学校の弓道部に入り、少年団の練習に駆けつける子供もいます。今

後も益々こうした傾向が続くことを期待しています。うれしい限りです。

弓道スポーツ少年団の活動に対する一層の責任を感じることで、スポーツ指導者の講習を受けました。今後も健康な、健全な子供たちの育成に努めたいと思っています。

二年振りの水泳指導



水戸市 庄司 稔

平成二十三年あの大震災の為、水戸市の公営温水プールが、二ヶ所とも大被害を被り、一年間一般市民・スポーツ水泳少年団・市水泳教室を開催する事が出来ず、とても残念で悔しい思いを致しましたが、こればかりはだれを恨む事も出来ずただただプールの一日も早い復旧を待つばかりの日々を過ごしました。プールばかりではなく、水泳指導者の方々も、それぞれ、自宅・店舗などにも相当な、被害を受け個人的にもいろいろ大変な思いをなされたと思います。やっと一年振りに一ヶ所温水プールが修理完成となり、平成二十四年四月より、一般市民、スポーツ少年団、市水泳教室、等々一ヶ所だけで再開をすることが

出来ました事を、市長様初め関係者方々の御誠意、御努力に感謝の気持ち胸一杯で御座居ます。又七月末より、もう一ヶ所の温水プールも修理、完成を見ました。

スポーツ少年団水泳の場合、震災前は百三十名程の子供達の登録を致しましたが、一年間の休部プランクの為、団員も予想通り九十名程の団員数となつてしまいました。これは仕方がない事と思われれます。水戸市水泳教室、スポーツ少年団では、約四百年前より(あのテレビ等で有名な水戸黄門様の父上頼房公)水府流という古流を泳ぎ続けてます。これは水戸市無形文化財第一号の指定ですので、水泳指導に携わる者として、どうしても、一般水泳愛好者、スポーツ少年団員達に、指導をして、水府流を水戸の誇りとして泳いでもらいたいと思つてます。

今年も市内小学校、三ヶ校へ水府流の指導を致しましたが、僅か一時間程度の指導で、水府流の基本一重のし(横泳ぎ)を泳ぐ事が出来る子供達が、参加者の一割ぐらい出来る事が、指導している者として驚いている状態です。

水府流の一つの特長として、口を水面より出している為、呼吸の心配がない事でしょうか。とにかく、僅かな指導で、これほど泳ぐものかと、感心しきりです。ぜひ水府

流を広げて行きたいと思つてます。関心のある方は、ぜひ水府流水術協会に問い合わせして下さい。

やっと二年振り、七月三十日(月)に国民皆泳第四十七回を開催する事が出来、喜びにたえません。今年も開催しなければ、二年続けて未開催ではなんととしても、子供達に申し訳け無いと思ひ、関係者一同どうしても今年開催する事と致しました。感謝致します。

例年と違い、長水路プールが、壊れたまゝの為、短水路プールで行う事としました。プログラムには例年行っている千メートル・耐久レースを、はずすなどとして、久々の水戸市内三十一校が、参加し小学一年より六年生までの、水泳大会を開催する事が出来ました事は、市教育委員会、市小体連、市水泳協会、市スポーツ振興協会等々の協力の賜物と感謝致します。



編集後記

第六十五号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただけるとなるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思ひます。

次回の会報発行は 平成二十五年三月

広報委員会

広報委員長

岡野 秀一

広報委員

- 菅谷 政宏(県北支部)
- 舛井 幸子(水戸支部)
- 柏葉 光子(中央支部)
- 君和田治也(鹿行支部)
- 櫻井 孝之(県南支部)
- 又村 和子(県西支部)